

石川県七尾美術館だより

平成14年10月1日発行
編集・発行 石川県七尾美術館

第31号(秋号)



ISHIKAWA
NANAO
ART MUSEUM



「2002イタリア・ポローニャ国際絵本原画展」より
ジョン・A・ロウ(イギリス)
「でも ぼく...」



展覧会紹介

平成十四年九月二十八日(土)～

十二月二十二日(日)

休館日については裏表紙をご覧ください

「2002 イタリア・ボローニャ

国際絵本原画展」

九月二十八日(土)～十月二十七日(日)

〔会期中無休〕

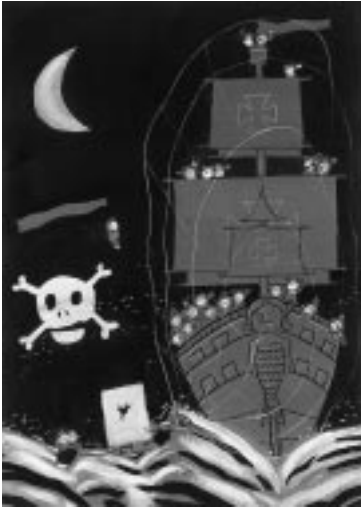
第一・第二・第三展示室

本展は毎年四月、イタリアの古都ボローニャ市で行われる「児童書専門見本市」の中で開催される、絵本原画の公募展です。

イタリアでの本展は、昭和三十九年に初めて開催され、日本では昭和五十三年に初めて紹介されました。

五枚一組であれば誰でも応募できることから、絵本作家やイラストレーターたちの登竜門として世界的に注目されており、厳選された作品群は芸術的とも言えるでしょう。

今年の世界六十ヶ国二千四百人以上の応募がありました。当館では、その中からフィクション部門の九十三作家作品に、昨年から展示されたノンフィクション部門の十三作家作品を加えて一堂に



エリック・パトゥー (フランス)



マルティナ・マトゥロヴィチヨヴァー (スロヴァキア)



アレクサンドル・ミフヌーシェフ (ウクライナ)

展覧します。また、毎年恒例の特別展示では、昨年のBIB(ブラティスラヴァ・ヒエンナーレ)においてグランプリを受賞したエリック・パトゥー(フランス)の、図録表紙書き下ろしなど三十六点も紹介します。

今年も国内四会場を巡回しますが、日本のイラストレーターたちへの影響も年々大きくなっており、日本人の入選者は過去最多の十八人となりました。また、この絵本原画展の人氣が急騰してきていることを示すように、各国から展覧会の申し

込みがでてきており、日本での四会場巡回も大変厳しくなってきました。これだけ質の高い絵本原画を、一堂に鑑賞できる機会はずっと多くありません。是非この機会をお見逃しなく！

十月十四日(月・祝)午後二時より、特別講演会を開催します。詳しくは四ページをご覧ください。

会期中、毎年恒例の「子どもワークショップ」や「子ども映画上映会」も開催します。詳しくは七ページをご覧ください。

会期中、第三展示室においてイタリアでのボローニャ本展を紹介するビデオを上映します。

会期中、一階休憩コーナーや第三展示室において、出品作家の絵本や「未来に残す絵本100冊」に選ばれた絵本などを自由にご覧いただけます。

かわいい絵八ガキ十六種類や図録の他、一部絵本も販売しますので、お楽しみに！



マリアグラツィア・オルランディーニ (イタリア)

観覧料

	一般	個人	団体
大高生	700円	350円	600円
			300円

中学生以下無料・団体は二十名以上です。

能登ゆかりの作品展 8

「山の寺院群」の文化財
 ～表現された様々な「能登」～

十一月九日(土)～十二月二十二日(日)

第一・第二展示室

能登地方に関連のある様々な美術工芸品を紹介する「能登ゆかりの作品展」です。

八回目となる今回は次の二テーマで開催します。

テーマ

『山の寺院群』の文化財

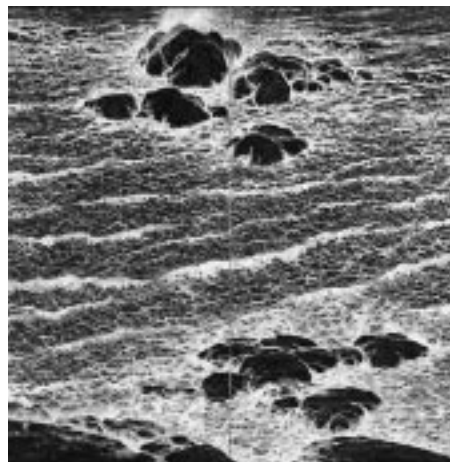
「山の寺院群」は天正九年(一五八一)に能登国の国主となった前田利家が、小丸山築城に伴なう七尾の城下町整備の一環として、小島、法華谷の地に寺院を配置させたのがその起りといわれます。

現在、「山の寺院群」は十六箇寺が同地に存在し、七尾市の観光スポットとして整備されると共に、古い歴史を持つ各寺院には多くの優れた文化財が所蔵されています。

さて、NHK大河ドラマ「利家とまつ」もいよいよクライマックスを迎えますが、本コーナーでは前田利家ともゆかりのある「山の寺院群」が所蔵する各作品・史料などを指定文化財を中心に紹介します。



重文「刺繍阿弥陀三尊像」(西念寺蔵)



「朔風能登(部分)水道秋聖(当館蔵)

テーマ

「表現された様々な『能登』」

石川県能登地方は日本海に突き出た半島であり、三方を海に囲まれたその地理的要因によって古くより海と深く関わってきた歴史を持っています。

そして海によって育まれた風土や、その豊かな自然景観は多くの作家を魅了し、これまで「能登」を題材にして風景や人々といった多くの作品が制作されています。

当館では平成七年の開館以降、「能登にゆかりのある美術品の収集」を行ってきた事もあり、能登をテーマにした多くの作品を所蔵しています。そこで本コーナーでは美術工芸品に表現された様々な形の能登を絵画などを通して紹介します。

観覧料

	一般	個人	団体
大高生	500円	350円	400円
	300円		

中学生以下無料・団体は二十名以上です。

第四十九回七尾市美術展覧会

十一月一日(金)～四日(振休)
 但し、最終日は午後四時まで

第一・第二・第三展示室

公募した市民の力作から厳選された六部門(日本画・洋画・彫刻・工芸・書・写真)の入選・入賞作品と、審査員・無鑑査作家の作品が展示されます。

入場料 無料

主催 七尾市文化協会

共催 七尾市・七尾市教育委員会・財団法人七尾美術館

後援 北國新聞社・ラジオななお

連絡先 七尾市文化協会事務局

☎〇七六七(五三) 〇五九六



昨年の七尾市美術展覧会風景

市民ギャラリー 展覧会案内

石川県高等学校文化連盟 能登地区美術展

十一月十二日(火)～十四日(木)

但し、初日は正午から

最終日は午後三時まで

能登地区の高校生の展覧会です。美術部・写真部・書道部の作品百五十点を展示します。内的必然性に基づくこと、追求するまなざしの堆積であること、形式化しないことを指標として制作しています。

入場料 無料

主催 石川県高等学校文化連盟・石川県教育委員会

後援 七尾市教育委員会

連絡先 川崎 輝

☎〇七六七(五九)一〇六八

「写団のと」十周年記念写真展

十一月十五日(金)～十七日(日)

但し、最終日は午後四時五十分まで

写真家のグループ「写団のと」の十周年記念展です。今回は能登の素晴らしさを見直そうと云うことで「能登を題材」にした作品を展示発表します。又、インターネットでも全国へ向けて発信の予定です。会員の感性で発表する能登を是非ご覧下さい。

入場料 無料

主催 写団のと

後援 七尾美術作家協会・七尾市文化協会・北國新聞社・ラジオななお

連絡先 橋本義則

☎〇七六七(五三)三〇一一

第七回洋画展NOTO

十一月二十日(水)～二十四日(日)

但し、最終日は午後四時三十分まで

今一度、創作の原点に立ち帰り、明日の絵画の創作を目ざし、ジェネレーション・会派を超えて研究発表する能登地区在住の俊英十一名による洋画の大作展。今回は会員全員が「能登」をテーマにした試作品も展示致します。

入場料 無料

主催 洋画展NOTO

後援 北國新聞社・ラジオななお

連絡先 大地 統

☎〇七六七(五三)〇二〇七

七尾能面展二〇〇二

十一月二十七日(水)～十二月一日(日)

但し、初日は午後一時から

最終日は午後四時まで

能面の美しさに魅せられた能面打ち同好の諸氏十二人が相寄り、各自制作した能面約六十面を展示します。能面が出来るまでの解説等も予定しております。能面を身近に「観賞ください」。

入場料 無料

共催 面匠会・能面打同好会

後援 北國新聞社・テレビ金沢・ラジオななお

連絡先 森多雪山

☎〇七六七(三三)二二〇七

第五十九回北國写真展 七尾展

十二月六日(金)～八日(日)

但し、最終日は午後四時まで

北陸では最古の歴史と伝統を誇る北国写真展です。県内外の写真愛好家の皆さんから応募された作品から、全入賞作品と入選・無鑑査・審査委員の作を抜粋して展示します。ご観賞ください。

入場料 無料

主催 北国写真連盟・北國新聞社

後援 石川県・北陸三県カメラ商組合・ラジオななお

連絡先 中山吉郎

☎〇七六七(五七)一三四八

アートホール催し物案内

第十四回全国生涯学習フェスティバル

まなびのアートホール2002

イタリア・ポローニヤ国際絵本原画展特別講演会

十月十四日(月・祝) 開演 午後二時

今年のポローニヤ国際絵本原画展実行委員長でもある末盛氏を講師に迎えての講演会です。

演題 「本は美しい宝の山」

～出版を通して語りたいこと～

講師 末盛千枝子氏(すえもりブックス代表)

(BP)(社団法人日本国際児童図書評議会)副会長)

入場料 無料

聴講の方、先着百五十名に「2002

ポローニヤ展絵葉書」をプレゼント。

まなびピア石川2002 in ななお

実行委員会

連絡先 七尾市教育委員会生涯学習課

☎〇七六七(五三)三六六一

第十一回七尾市民文化祭 第六回辻井雅子公開レッスン

十一月二日(土) 開演 午前九時

能登ピアノレスナー会会員の生徒六名を対象とした公開レッスン及び、Q&A。能登ピアノレスナー会会員を随時募集しております。

入場料 無料

主催 七尾市文化協会

共催 七尾市教育委員会

後援 北國新聞社

主管・連絡先 能登ピアノレスナー会

☎〇七六七(五二)三〇三九

国際親善講演会

十一月三日(日・祝) 開演 午後三時

演題 「日韓親善のための文化交流」
講師 李 炳鐸(イ・ピョンタク)氏

金泉文化院理事

金泉詩友会監査委員

入場料 無料

共催 七尾市文化協会・七尾市国際交流協会

連絡先 七尾市文化協会事務局

☎〇七六七(五三)〇五九六

ト部啓子門下生ピアノ発表会

十一月十日(日) 開演 午後一時三十分

ピアノソロから母子、先生、お友達との連弾があります。今回は2ステージの演奏に挑戦しました。オープニングはミッキーマウスマーチの連弾です。

入場料 無料

主催 ト部啓子門下生

後援 平田チューニング
連絡先 ト部啓子

☎〇七六七(六八)六三三五

リトル・ウイング音楽会

十一月十七日(日) 開演 午後一時

ピアノ・エレクトーンソロをはじめ、親子連弾や高校生によるハモネプなど、楽しい事が盛りだくさんの発表会です。皆さん、お気軽にお立ち寄り下さい。

入場料 無料

主催 リトル・ウイング

後援 ㈱開進堂楽器・㈱河合楽器製作所

連絡先 前田ゆかり

☎〇七六七(五二)九九四三

第四回 アルブルクラシックコンサート

十二月一日(日) 開演 午後二時

ピアノの独奏によるコンサートで、今回はヨーロッパの音楽をテーマとし、ドイツやハンガリーなどの国々を代表する作曲者の作品を演奏します。どうぞ、お気軽にご来場下さい。

入場料 大人一、〇〇〇円 小学生以下七〇〇円

主催 アルブル

後援 洗足学園魚津短期大学同窓会・北國新聞社・北陸放送・ラジオななお・

㈱開進堂楽器・㈱河合楽器製作所

連絡先 谷 栄美

☎〇七六七(五三)一一二四

第七回 干場一葉門下生ピアノ発表会

十二月八日(日) 開演 午後一時三十分

年に一回開かれるピアノ発表会です。幼児から大人まで、ジャンルにこだわらず演奏します。去年に引き続きピアノ三重奏の演奏、また今回は親子、兄弟で六手連弾も演奏します。

入場料 無料

主催 干場一葉門下生

後援 北國新聞社・ラジオななお

連絡先 干場一葉

☎〇七六七(七四)一三五二

dolce。ピアノコンサート

十二月二十一日(土) 開演 午後一時三十分

子供から大人による、ピアノ発表会です。今年 は利家とまつこのテーマ曲「唄流」でオープニング。歌のゲスト出演や講師によるピアノ演奏も、どうぞお楽しみ下さい。

入場料 無料

主催 ピアノグループdolce

後援 ㈱河合楽器製作所

連絡先 井藤真理

☎〇七六七(五八)一三五五

サムシングエルスコンサート

十二月二十二日(日) 開演 午後六時三十分

僕らサムシングエルスは、三人の声とアコースティックギターを大切にしているグループです。今回は思い出深い七尾でライブが出来るということでメンバー三人とも楽しみにしています！

入場料 四、二〇〇円

共催 エフエム石川・ミヤコ音楽堂

後援・連絡先 FOB企画

☎〇七六(一三三)二四二四

等伯にまつわる人々(その二)

等伯の家族について

長谷川等伯には久蔵・宗宅・宗也・左近の四人の息子がいたという事はこれまで紹介してきました。四人とも絵師として等伯と共に、或いは等伯の跡を継いで活躍したといわれます。

それでは等伯には他にどんな家族がいたのでしようか。今回は等伯の家族を紹介したいと思えます。

等伯の両親

等伯は天文八年(一五三九)に能登七尾に生まれました。父親は奥村文之丞宗道という人で、当時(室町時代後期)能登国を統治していた戦国大名能登畠山氏の家臣であったといわれます。但し、史料には宗道の父親が奥村宅之丞元道という人で、等伯のゆかりに宗以入道という人がいたとの記載はありますが、宗道が畠山家中でどの程度の地位にあったのか、どのような生涯を送ったかについては判然としていません。一方、生母については「妙祐」という法名のみが伝わります。

等伯の実家・奥村家の菩提寺は本延寺(七尾市)であり、同寺には等伯が彩色した「日蓮聖人坐像」などが伝わっています。

等伯はその後、長谷川宗清の養子となったとされます。宗清は法名を「道浄」といい、七尾城下で染色業を営んでいました。長谷川家への養子については等伯の実父・宗道の縁者で染色業の奥村文次が仲介役を果たしたといわれます。

宗清は染色業だった事もあり、書画にも堪能で

あったとされ、室町時代の大画家である雪舟の弟子・等春が能登に一定期間逗留した折りにその教えを受けたといわれます。そしてその感性豊かな養父・道浄より等伯は絵を学んで画家としてスタートしたのであり、絵師・等伯の誕生には養父の影響が大きかったといえるでしょう。実際に等伯若年時の作品の数点に「宗清」印や「道浄」の記載があります。そして晩年、等伯は「自言舟五代」を宣言しますが、そこには等春より学んだ養父の存在があったと思われる。また、養母ですが法名が「妙相」という人でした。

養父母については、元龜二年(一五七二)に相次いで亡くなっています。この事もあって等伯は上洛の決心を固めたとされ、同年の内に京都へ向かって旅立っています。

長谷川家の菩提寺は長壽寺(七尾市)であり、同寺にはかつて長谷川家の墓があったといわれています。

等伯の二人の妻

等伯は七尾在住時に結婚しています。相手は法名を「妙浄」という人で、恐らく同じ能登の出身でしょう。等伯三十歳時には長男・久蔵が誕生していますので、少なくともそれまでには結婚したと考えられます。そして上洛時、妙浄は等伯と三歳になる息子・久蔵と行動を共にして京都へ旅立っています。

上洛後五十歳頃までの等伯の行動は不明点が多く詳細は分かかっていませんが、異郷の地での活動は何かと心細く、苦勞も多かったのは容易に想像できます。恐らく等伯と妙浄は力を合わせて労苦を乗り越えたと思われれます。

妙浄は等伯との間に長男・久蔵と次男・宗宅の二人の子を生みました。そして天正七年(一五七

九)、等伯四十一歳の時に亡くなっています。

さて、妙浄が没して十年後の天正十七年、等伯は再婚しています。後妻は法名を「妙清」といい、時に等伯は五十一歳、妙清は三十歳でした。

妙清は等伯と親交のあった本法寺住職・日通上人の母・妙法の姉妹・妙福の娘だとされ、日通上人と同じく堺の出身と推測されています。

等伯五十歳代は最も画技に磨きがかかった時期で「楓図」(京都・智積院蔵、国宝)、「松林図」(東京国立博物館蔵、国宝)など等伯の代表作が描かれる一方で、長男・久蔵や、最大の理解者・千利休が亡くなるなど激動の時期でした。妙清はその激しく翻弄される等伯を常に支えていたであろうと思われれます。

慶長九年(一六〇四)、等伯は朝廷より法橋の位を与えられますが、同年、妙清は亡くなりました。享年は四十五歳といわれ、等伯との間には三男・宗也、四男・左近を生んでいます。(続)



七尾城跡(七尾市古府町・古屋敷町・竹町)
七尾城は室町時代に能登国を統治した能登畠山氏の居城です。長谷川等伯の実家・奥村氏はこの能登畠山氏の家臣であったといわれます。

参考資料
長谷川等伯研究 土居次義著 講談社
桃山絵画研究 山根有三著 中央公論美術出版

夏の子どもワークショップ報告

昨年大好評を得ました木彫講座「子どもアーティスト誕生！」に引き続き、今年も開催しました「子どもアーティスト誕生」。美術館を創造活動の場、ふれあい空間の場として利用してもらったための企画です。

講師は昨年と同じく、工芸家の瀧川千春先生にお願いし、七月二十三日から二十八日までの六日間にわたり、小学四年生から中学一年生までの計二十六名の参加で行われました。

朝の九時から十一時三十分まで、途中休憩をはさみながらの二時間半です。

野外広場に張られたテントの下に集合し、道具の使い方の説明を受けると、いよいよ制作にかかります。まず、どういう形にするかを考えて、山積にされた太い丸太や木切れの中から材料となるものを選び出し、テーブルやイス、ポストカードたてなどに変身させます。

頭の中の完成図をどうやって形にするか、瀧川先生に相談しアドバイスを受けます。ノミや彫刻刀、かなな、のこぎりなど数種の道具を使い、ダイナミックに削ったり色を塗ったり。電動ノミなどの見たことのない道具にみんなは興味津々の様子でしたが、見ている職員は怪我をしないかとヒ



ヤヒヤ。大きな木を切るのは先生やシルバー人材センターの中川さん、堂脇さんにお願ひしましたが、作業が進むにつれどんなアイディアもわいてきてみんなの注文も難しくなってきました。

熱中して根を詰め過ぎないように、休憩時間にはアイスやスイカを食べて一休み。

夏の炎天下の野外に張られたテントの下で汗をかきながらのとてもハードな作業でしたが、魚や木の葉、うさぎやお化けなど、思い思いのテーブルやイスができあがると、各々満面の笑みを浮かべて使い心地をチェックしていました。

後半には美術館で職場体験中だった男子中学生もお手伝いしてくれました。

また、制作の様子は速報として、毎日当館ホームページに写真を掲載してお伝えしました。

頭の中で想像したとおりの作品に仕上がったかどうかはさておき、考えたものが形になることの楽しさを味わうことができたのではないのでしょうか。

今回残念ながら定員オーバーで参加できなかったお友達！当館ではこれからも皆さんに喜んでいただけるような楽しいワークショップを計画していますので、美術館からのお知らせをチェックしてね。



当館主催の催し

ポロニーヤ 展特別企画

子どもワークショップ【参加費無料】

「かんたん絵本を作るようよ！」

日時 ポロニーヤ 展会期中

毎週土・日曜日 午後二時から

対象 四歳～小学生（未就学児は保護者同伴）

定員 各日 十名（要申し込み）

会場 一階休憩コーナー

「BOXアートの世界」

日時 十月二十六日（土）午後二時から

対象 小学四年生～中学生

定員 各日 二十名（要申し込み）

会場 アートホール

29cm x 30cm x 5.7cmの木製の箱の中に自分の好きなものを並べたり、貼り付けたりして素敵な空間を作り出そう！

子ども映画上映会【入場無料】

日時 十月十二日（土）・二十六日（土）

午後一時から

デイスニー短編アニメ他

映画上映会【入場無料】

日時 十一月九日（土）・二十三日（土）

十二月十四日（土）午後二時から

「桃山 金箔乱調の美」(約三十分)

お申し込み・お問い合わせは

石川県七尾美術館

☎〇七六七（五三）一五〇〇



これからの展覧会予定



第1・2・3展示室

「冬季・所蔵品展」

織部の魅力 / 選ばれたモチーフ / 石川県の彫刻家

平成15年1月4日(土)～2月23日(日)

第1展示室では、七尾市の名誉市民でもある池田文夫氏が生前に収集した「池田コレクション」より、織部焼の優品を紹介します。また、第2展示室では、それぞれのモチーフに焦点をあて、絵画や工芸を展示し、第3展示室では、石川県にゆかりのある彫刻家の作品を紹介します。



「青織部南蛮人物燭台」

第1展示室

「春季・名品展」

茶道美術品を中心に

平成15年3月1日(土)～4月13日(日)

当館所蔵品の中核をなしている「池田コレクション」より茶道美術品を中心に各作品を展示予定です。



「茶碗 銘千鶴万亀」 川上 白

第2展示室

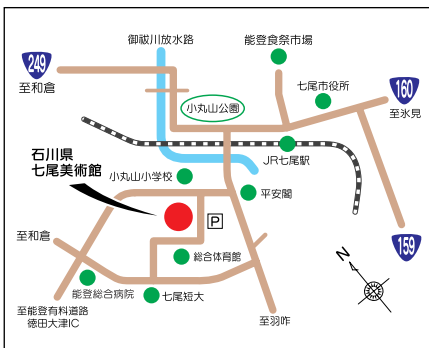
「石川県ゆかりの作家たち」

現代の女流作家たち(仮称)

平成15年3月1日(土)～4月13日(日)

毎年この時期に開催している企画展「石川県ゆかりの作家たち」では、主に現在活躍中の作家に注目して展示を行ってきました。

そして本年のテーマですが、「女流作家」に焦点を当てて個性豊かな作品を紹介予定です。



交通案内

車.....金沢より能登有料道路
利用約1時間30分

タクシー...JR七尾駅より約5分

徒歩...JR七尾駅より約20分

市内循環バス...JR七尾駅より西回りに
(まりん号) 乗車約6分

休館日のお知らせ

(10月～12月)

10月 28～31

11月 5～8、11、18、25

12月 2、9、16、23～31

次号・第32号(冬号)は1月4日発行予定です。